

令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和7年3月29日

団体所在地 東広島市豊栄町清武1311-3〇〇〇〇

団体の名称 生活の森おうちえん〇〇

職・氏名 園長 兼平 早苗

(施設名 生活の森おうちえん)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

- ・入園式
- ・親子遠足(甘夏狩り)
- ・子どもの日お茶会、柏餅作り
- ・玉ねぎ、にんにくの収穫・調理
- ・色水遊び・草花のたたき染め
- ・野いちご摘み、ジャム作り
- ・田んぼで泥んこ遊び・虫探し
- ・川遊び
- ・日々の里山散歩、森遊び

【7月～9月】(夏季)

- ・川遊び
- ・そうめん流し、スイカ割り
- ・川の生き物探検(オオサンショウウオ)
- ・敬老の日のハガキづくり(紙漉き)
- ・栗拾い、栗ご飯クッキング
- ・食べられる秋の実探し
- ・お月見お茶会・お月見団子作り
- ・森の運動会
- ・日々の里山散歩、森遊び

【10月～12月】(秋季)

- ・お泊まり保育
- ・芋掘り、野外料理、焚き火料理
- ・落ち葉遊び
- ・染め物
- ・りんご狩り、食べられる実探し
- ・木の実や枝でクリスマスオーナメント作り
- ・しめ縄づくり・餅つき
- ・園庭の環境改善作業
- ・日々の里山散歩、森遊び

【1月～3月】(冬季)

- ・書き初め、とんど
- ・雪遊び、氷作り、氷遊び
- ・凧揚げ、羽子板づくり
- ・味噌作り
- ・節分、ひな祭りの野外料理・焚き火で棒パン
- ・蜜蝋キャンドルづくり
- ・椎茸の植菌
- ・卒園お茶会、卒園式
- ・日々の里山散歩、森遊び

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

（写真）



ご近所さんの使われていない田んぼで泥んこ遊びをさせていただきました。

最初から裸足になってバシャバシャ入る子もいれば、初めは長靴で入る子や周りで見ている子もいました。

春休み前にはぷにぷに卵だったものが、沢山のおたまじゃくしに。子どもたちはおたまじゃくしすくいや、泥団子や泥んこおむすび作りに夢中。

そのうち、周りで見ているだけだった子も恐る恐る足をいれ、そして裸足にそして座り込んで遊ぶ子もいました。ぬるっとした感触をどう感じるかは人それぞれ。いろんな言葉が飛び出してきました。

春の間は、何度も足を運ぶうちに、おたまじゃくしから足が生えてきて、そしていつの間にかたくさんいたはずのおたまじゃくしはいなくなっていました 🐸🐸🐸🐸

【7月～9月】

（写真）



広大でオオサンショウウオの研究もされている、豊栄町の地域コーディネーターの山崎先生に講師に来ていただき、オオサンショウウオや地域の川の生き物探す、川探検に出かけました。

子どもたちはこの日を心待ちにしており、生き物を捕まえては「やまちゃ〜ん！これなに??」と大きな声で先生を呼び、いろいろな生き物を教えてもらっていました。

最後には1メートル近くあるオオサンショウウオを見て、大きさを測ったり、触らせてもらったりしました。尻尾を汚していたオオサンショウウオ。子どもたちは「どうして怪我してるの?」と質問し、オオサンショウウオの生態のことや、今のこの川の環境のことをわかりやすく教えていただきました。地域の川に住む生き物や環境のことを知ることができた1日でした。

【10月～12月】

(写真)



10月初め、年長さんのお泊まり保育をしました。それに向けて何度も年長さん同士で話し合いをし、ワクワクする気持ち、不安な気持ちなどそれぞれの想いを分かち合いながら、自分の気持ちと向き合い、自分とは違う想いの人がいるという事を知るいい話し合いの時間になりました。

また、何を料理して作るか、どんなスケジュールにするか、持ち物は何が必要か、など、子ども達が意見を出し合いながら一緒に準備を進めていきました。

そうして迎えた当日、買い物に行き夕飯や花火を済ませた後は、程よい寒さに焚き火が心地よく、思う存分ゆったりと火と向き合う子もいました。

テントで迎えた朝、清々しい表情で起きてきた子どもたちは釜戸でご飯を炊き、鶏小屋に卵をとりいき、目玉焼きとお味噌汁を作り、どの子も、もっともっと泊まりたい。と、自信に満ちた顔つきでした。お泊り保育を終えた子ども達は、一回りも二回りも大きく成長したように思う、そんな行事でした。

【1月～3月】

(写真)



今年の冬は昨年とは打って変わり、たくさん雪遊びができました。

寒い冬でも、雪があると子どもたちは元気いっぱい。

ソリ滑りや雪合戦に、雪だるまやかまくら作りなど、毎日毎日、飽きることなく遊び続けました。

寒い朝にはあちこち氷ができていることが分かった、帰りには色々な容器に水を入れ、次の日を楽しみにしている子もいました。

焚き火をすれば冷えた体を温めながら、出来上がっている氷を溶かしたり、雪玉を水に戻したり、いろいろ試して遊ぶ子ども達。

自然は、春夏秋冬、1日たりとも同じ姿はなく、子ども達はいつも色々な発見をし、試す日々。

今年度も自然はたくさんのことを与え、教えてくれました。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

○職員の資質向上について

- ・森のようちえん全国ネットワーク主催の森のようちえん指導者養成講座を受講（6月）
- ・年に2回の自然保育認証団体安全管理研修を受講
- ・発達に関する講座やボディーワーク入門講座を受講（6月、9月、12月）
- ・MFA チャイルドケアプラス、ファーストエイドを受講（6月）
- ・発達支援コーチ初級講座を受講（9月）
- ・森のようちえん全国ネットワーク主催の水辺の安全研修を受講（6月）
- ・岐阜県の森のようちえん「森のわらべ多治見園」主催の森わらまつり視察、森わら講座を受講（11月）
- ・森のようちえん「まめとっこ」へ視察研修。（2月）
- ・消防主催の子どもの応急手当を受講（2月）
- ・ピッコロ森のようちえん主催の対談講座を受講（5月）

○地域との関わりについて

- ・地域の方の山や田んぼをお借りして定期的に山登りや泥んこ遊び、生き物探しなどを行った。
- ・ハロウィンでは、地域の方やお店にご協力いただき、回らせていただいた。
- ・近隣のリンゴ園さんで、リンゴ狩りを兼ねて遠足に行かせていただいた。
- ・近所の方に、さくらんぼ狩りをさせていただいた。
- ・オーガニックマルシェを年2回開催し、地域の方にも遊びに来ていただいた。
- ・広大でオオサンショウウオの研究をされている、豊栄町の地域コーディネーターの方にご協力いただき、川の生き物探検へ出かけ、オオサンショウウオや他の生き物と触れ合った。
- ・わら細工をされている地域おこし協力隊の方に来ていただき、しめ縄づくりを行なった。

○保護者との関わりについて

- ・保護者と共に園庭の環境改善整備。
- ・草木染め、お茶会、川遊びなど、保護者の方も参加していただき、交流を兼ねて開催。
- ・運動会では、親子組、ようちえん合同で行い、小中学生の兄弟や保護者の方も楽しめる運動会を開催

○その他

- ・週に一度親子で通う森のようちえん「親子クラス」のほか、単発で参加できる親子イベントを開催。
- ・県内外から出展者さんや出演者さんに参加していただき、ワークショップ型のイベントを春に1回、オーガニックマルシェを夏と秋に2回開催。子どもから大人までみんなが楽しめるイベントになるよう、お買い物だけでなく、宝探しや綱引き、ライブなど、様々なことを企画。

※より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	http://www.instagram.com/seikatsunomori_ochien
-----	---